



トランザクションまたは発信元ホストに基づく動的なトランスポートの選択

- 機能の概要と変更履歴 (1 ページ)
- 機能説明 (2 ページ)
- Diameter ベースインターフェイスの低および高優先順位チャネルの特性 (3 ページ)
- S11、S5、またはS8 インターフェイスの低優先順位チャネルと高優先順位チャネルの特性 (4 ページ)
- 機能の仕組み (4 ページ)
- トランザクションまたは発信元ホストに基づく動的なトランスポート選択の設定 (9 ページ)
- モニタリングおよびトラブルシューティング (12 ページ)

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	P-GW
該当プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">• ASR 5500• VPC-DI• VPC-SI
機能のデフォルト	無効 - 設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	N/A

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
初版 重要 この機能は、すべてのお客様の展開シナリオでは検証されていません。サポートについては、セールスアカウントチームにお問い合わせください。	21.22

機能説明

国家安全保障上のインシデントや緊急事態に備え、システムの効果的な管理を実現するには、信頼性と安全性に優れた通信システムが必要です。National Security and Emergency Preparedness (NS/EP) は一連の音声、ビデオ、およびデータのサービスです。パブリックパケット交換サービスプロバイダーから利用できるサービスに属し、NS/EP 通信をサポートするための優先サービスを提供します。NS/EP 通信システムには、固定回線、ワイヤレス、ブロードキャスト、ケーブルテレビ、無線、公共安全システム、衛星通信、およびインターネットが含まれます。

Wireless Priority Services (WPS) は、全世界および複数の地域の携帯電話ネットワークで職員の優先アクセスや優先処理を提供し、コール完了の可能性を高める NS/EP 通信プログラムの 1 つです。

ファーストレスポンドとも呼ばれる WPS ユーザーは、国家安全保障と緊急事態への対応の管理に不可欠なコマンドアンドコントロール機能を担当します。ネットワークで WPS ユーザーのトラフィックを伝送する場合、すべてのネットワーク要素は個別および集合的に次の条件に従う必要があります。

- **コントロールプレーントラフィックの優先順位付け**：WPS ユーザーのコントロールプレーントラフィックは、LTE コアのさまざまなネットワーク機能間で他のサブスクライバよりも優先されます。
- P1、P2、P3 は、WPS ユーザーが使用できる 3 つの優先順位レベルです。
 - P1 と P2 のユーザーは HSS/PCRF で識別され、GW はデフォルトおよび専用のベアラの作成、変更、更新、削除時にそれぞれの優先順位 (ARP) を使用します。
 - P1 および P2 の WPS ユーザーは、高い優先順位で扱われます。
 - 優先順位付けされたユーザーのコントロールプレーン IP パケットの DSCP マーキングは DSCP = 47 でマークされ、他のすべてのユーザー制御パケット IP パケットは DSCP = 32 でマークされます。
- **Diameter インターフェイス**：
 - P-GW、Policy Change Rule Function (PCRF)、および Diameter ルーティングエージェント (DRA) は、Gx インターフェイスや Rx インターフェイスなどの Diameter インター

フェイスの設定を使用して、サブスライバのポリシー制御や課金制御をサポートします。

- P-GW および S-GW は、それぞれのピアとの間で S5、S8、S11、S1U などの非 Diameter インターフェイスを使用します。

Diameter ベースインターフェイスの低および高優先順位チャネルの特性

Differentiated Services Code Point (DSCP) のマーキング中は、低優先順位チャネルは通常優先順位のユーザーを示し、高優先順位チャネルは WPS ユーザーを示します。PGW (Gx) の DRA へのピア接続を図に示します。

図 1: Gx インターフェイスを介した低優先順位チャネルおよび高優先順位チャネルの概要

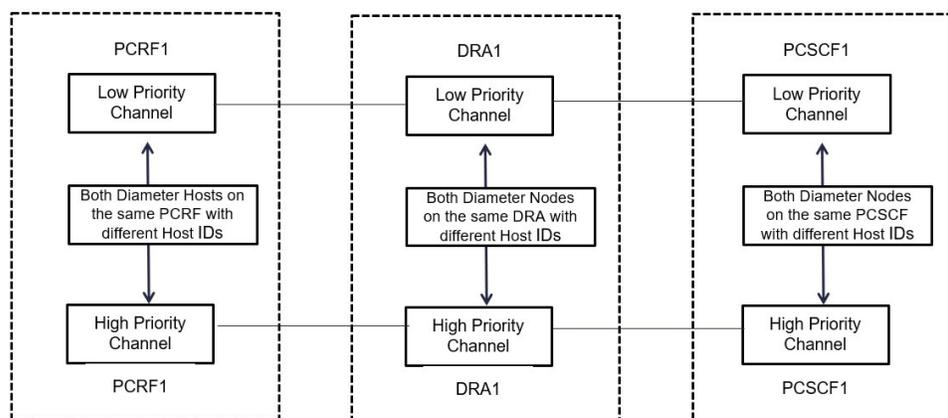


表 1: Gx インターフェイスの低優先順位チャネルと高優先順位チャネル

優先順位チャネル	Diameter インターフェイス	IP レイヤ DSCP	IP レイヤを介した TCP 接続	Diameter ホスト FQDN
低優先順位	Gx	32 と等しい	32 (注) このチャネルは非 WPS Diameter メッセージ用ですが、すべてのレッドピアがダウンしている場合などのエラーシナリオで WPS Diameter メッセージを伝送する可能性があります。	未変更 例: 000 1-diamproxy. PGW-Gx', 'dra1', 'pcrf1

S11、S5、または S8 インターフェ이스の低優先順位チャネルと高優先順位チャネルの特性

優先順位チャネル	Diameter インターフェイス	IP レイヤ DSCP	IP レイヤを介した TCP 接続	Diameter ホスト FQDN
高優先順位	Gx	47 と等しい	47	高い優先順位に固有 例： 0001-diamproxy. PGW-Gx-wps', 'dra1-wps', 'pcrf1-wps'.

S11、S5、または S8 インターフェ이스の低優先順位チャネルと高優先順位チャネルの特性

S5 インターフェ이스と S11 インターフェ이스は GTPv2 ベース（トランスポートプロトコルとして UDP を使用）で、低優先順位チャネルと高優先順位チャネルに次の特性があります。

表 2: 他のインターフェ이스の低優先順位チャネルと高優先順位チャネル

優先順位チャネル	Diameter インターフェイス	IP レイヤ DSCP	IP レイヤを介した TCP 接続	Diameter ホスト FQDN
低優先順位	S11 または S5 または S8	32	—	—
高優先順位	S11 または S5 または S8	47	—	—

機能の仕組み

この機能の動作の概要を以下で説明します。PGW は **wps profile** に基づいて、高い優先順位または低い優先順位のいずれかのチャネルを選択します。APN 名、QCI、および ARP が表に示されているとおりに一致すると、セッションは IMSA での WPS セッションとして検出されません。

表 3: APN、QCI、および ARP の優先順位レベルに基づく WPS メッセージの優先順位付け

APN 名	QCI	ARP	DSCP
IMS	66,69	*	47
IMS	*	1、2	47
IMS	8	3	47

APN 名	QCI	ARP	DSCP
IMS	9	5	47
IMS	2	4	47

次の表では、トランザクションまたは発信元ホストに基づく動的なトランスポート選択のプロセスについて説明します。

表 4:手順

プロセス	説明
WPS ユーザーと非 WPS ユーザーの識別	<ul style="list-style-type: none"> • WPS ユーザーを有効または無効にするには、Diameter のエンドポイントで CLI コマンド priority-select を使用します。この CLI コマンドは、IMS 承認サービスのポリシー制御設定にあります。 • PGW は、割り当ておよび保持プライオリティ（ARP）値がタグ付けされたすべての eMPS セッションを含むセッション作成要求を受信します。 • PGW は、その ARP 値が WPS と一致しているかどうかを確認します。 • セッションマネージャは、受信した ARP 値が eMPS セッションと一致しているかどうかを確認します。 • eMPS セッションの一致と有効な優先順位選択という上記の基準が満たされている場合、ユーザーは WPS ユーザーと呼ばれます。それ以外の場合、ユーザーは通常ユーザーと呼ばれます。

プロセス	説明
セッションの優先順位付け	<p>ポリシー変更ルール機能（PCRF）では、非 WPS ユーザー向けの低い優先順位のセッションと WPS ユーザー向けの高い優先順位のセッションといった 2 つの優先順位レベルを定義できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WPS セッション時に常時：WPS ユーザーに属する GTPv2-S5、GTPv2-S11、GTPv2-S8、および Gx セッションは、常に高い優先順位として扱われます。 • オンデマンド WPS セッション：非 WPS ユーザーに属する GTPv2-S5、GTPv2-S11、GTPv2-S8、および Gx セッションを、より高い優先順位（より低い ARP PL 値）に動的に昇格できます。この最も一般的な例は、WPS ユーザーが非 WPS ユーザーに WPS コール（*272 で始まるコールをダイヤルすることにより開始）を発信する場合です。このようなタイプのセッションは、オンデマンド eMPS セッションと呼ばれます。 • 高い優先順位のセッションに属するコントロールプレーン Gx メッセージは、高い優先順位のチャネルを使用します。 • 高くない優先順位のセッションに属するコントロールプレーン Gx メッセージは、高い優先順位のチャネルを使用します。

プロセス	説明
通常ユーザーと WPS ユーザー間のパスの差別化	<p>Gx インターフェイスでは、CLI レベルで 2 番目のパスを形成するためにさまざまな接続が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P-GW は 2 セットの DRA ピア接続を作成します。1 つは高い優先順位に設定され、もう 1 つは通常の優先順位のメッセージに設定されます。 • P-GW は、セッションのタイプ (WPS セッションまたは非 WPS セッション) に応じて、特定の接続ペアで CCR-Initial および CCR-Update Gx メッセージを送信します。 • ピアに priority-select フラグを設定すると、WPS セッションのすべての CCR メッセージが高い優先順位のピアで開始されます。P-GW がユーザーを WPS ユーザーとして識別すると、DSCP を 47 にマーキングして優先順位の高いピアにバインドします。ただし、非 WPS サブスクライバの Diameter メッセージは低い優先順位のピアで開始され、DSCP は 32 に設定されます。 <p>(注) ピアの DSCP 設定が指定されていない場合は、Diameter エンドポイントに設定されたグローバル DSCP 値が使用されます。Diameter エンドポイントにグローバル DSCP 値が設定されていない場合は、DSCP 値「0」が使用されます。</p> <p>WPS ユーザーに関しては、CCR-I メッセージをトリガーする前次のアクションが実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高い優先順位のピアの選択。 • 既存の AVP 文字列がピア設定で設定されている場合、発信元ホスト ID に文字列が追加されます。文字列が設定されていない場合、デフォルトの -wps 文字列が発信元ホスト ID に追加されます。 • DRA または PCRF は、CCR-I の受信時に高い優先順位のチャンネルを介して CCA-I で応答します。その後のメッセージは、高い優先順位のチャンネルに従います。

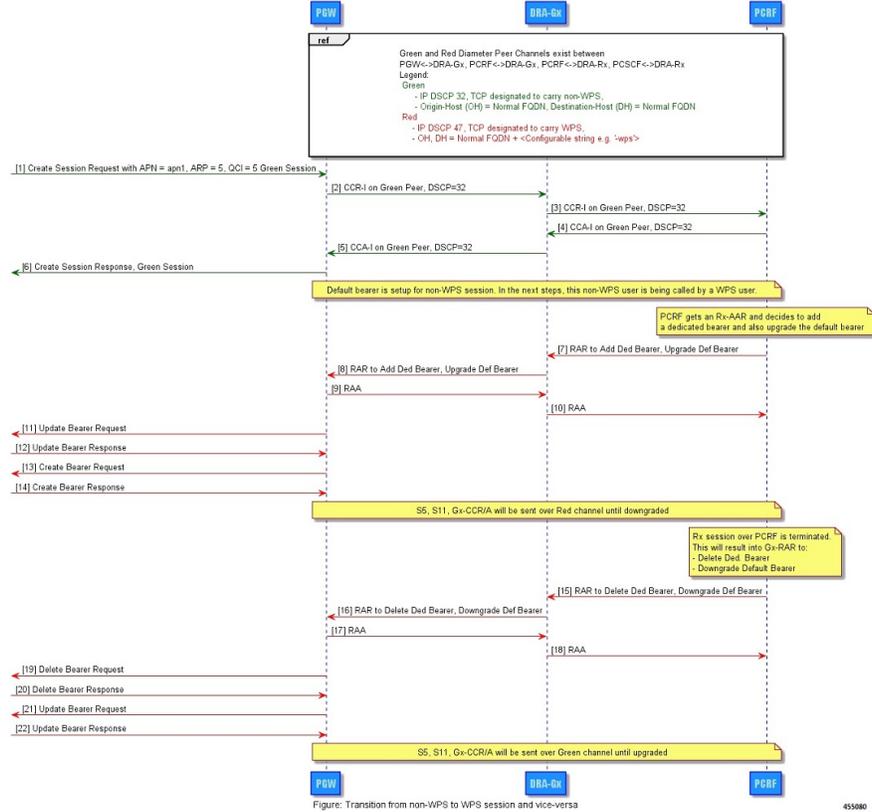
この機能の主なコールフローには、非 WPS セッションから WPS セッションへの移行と、PCRF によって開始されたベアラー削除が含まれます。

CSR (セッション作成要求) に 1 つのベアラーがあり、ARP が eMPS プロファイルで定義された ARP と一致しない場合、セッションは低い優先順位のセッションとして扱われます。すべての Gx メッセージは、PCRF への低い優先順位のチャンネルに従います。ただし、モバイルによってトリガーされた専用ベアラーの ARP が、eMPS プロファイルで定義された ARP と一致する場合、低い優先順位のセッションは WPS セッションに移行されます。



(注) このドキュメントでは、低い優先順位のチャンネルと緑色のチャンネルが同じ意味で使用されています。赤色のチャンネルと高い優先順位のチャンネルについても同様です。

図 2: 非 WPS セッションと WPS セッション相互の移行



(注) StarOS 21.22 リリースでは、WPS セッションは eMPS セッションと同じであり、eMPS プロファイルに基づいています。

表 5: 手順

ステップ	説明
1 ~ 6	低い優先順位のチャンネルは、非 WPS セッションに使用されます。

ステップ	説明
7 ~ 14	<p>P-GW が eMPS プロファイルで定義された ARP を含む RAR を受信すると、次の操作が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内部で、セッションが eMPS セッションに更新されます。 • P-GW は高い優先順位のピアを識別し、発信メッセージの発信元ホスト AVP に文字列「-wps」（または設定された origin-host-suffix 文字列）を追加します。 <p>Gx、S5、および S11 での後続の発信メッセージは、セッションが再度ダウングレードされるまで、高い優先順位のチャンネルに従います。</p>
15 ~ 22	<p>P-GW が eMPS プロファイルで定義されていない ARP を含む RAR を受信すると、セッションが eMPS (WPS) セッションから非 WPS にダウングレードされます。</p>
(注)	<p>セッションが eMPS 状態にあり、高い優先順位の Gx ピアが使用できない場合、低い優先順位のピアが Gx トラフィックに使用されます。使用可能なピアが存在しない場合、コールはドロップされます。</p>

トランザクションまたは発信元ホストに基づく動的なトランスポート選択の設定

ここでは、トランザクションまたは発信元ホストに基づいて動的トランスポート選択を設定する方法について説明します。

1. eMPS プロファイルの設定
2. eMPS プロファイルの P-GW サービスへの関連付け
3. eMPS セッションの Gx 優先順位付けの有効化
4. APN サービスの WPS 機能およびプライオリティサービスの有効化

eMPS プロファイルの設定

このセクションでは、eMPS プロファイルの設定方法を説明します。次のコマンドを使用して eMPS プロファイルを設定します。この eMPS プロファイルは、eMPS ベアラーまたはセッションとしてベアラーまたはセッションを識別およびマークするために使用されます。

```
configure
[ no ] emps-profile emps_profile_name -noconfirm
```

```
[ no ] earp { [string value] }
[ no ] dscp-marking { dscp-value }
end
```

注：

- **emps-profile emps_profile_name** : eMPS セッションの属性を定義するための eMPS プロファイルを設定します。 *emps_profile_name* は、1 ～ 63 文字の文字列です。
- **-noconfirm** : 確認のプロンプトなしで新しい eMPS プロファイルを作成します。
- **earp** : 最大 8 つの eARP 優先順位レベル (PL) 値を設定して、設定された eARP 優先順位値を持つセッションを eMPS セッションとしてマークできるようにします。 eMPS プロファイルでは、最大 8 つの eARP 値を設定できます。
- **dscp-marking** : eMPS セッションに適用される DSCP 値を指定します。 *dscp_value* は、0x0 ～ 0x3F の 16 進数である必要があります。



(注) eMPS プロファイルの設定 (eMPS ベアラーまたはセッションとしてベアラーまたはセッションを識別するために使用される eMPS ARP の設定)、および eMPS 統計に関連する補足情報については、『*P-GW Administration Guide*』または『*SAEGW Administration Guide*』の「VoLTE/緊急コールの拡張優先順位付け」の章を参照してください。

P-GW や S-GW サービスへの eMPS プロファイルの関連付け

ここでは、eMPS プロファイルを P-GW や S-GW サービスに関連付ける方法について説明します。

```
configure
context context_name
  pgw-service service_name
    associate emps-profile emps_profile_name
  end
configure
context context_name
  Sgw-service service_name
    associate emps-profile emps_profile_name
  end
```

注：

- **no** : P-GW または S-GW サービスと eMPS プロファイルの関連付けを無効にします。
- **associate emps-profile emps_profile_name** : eMPS プロファイルを P-GW または S-GW サービスに関連付けます。

eMPSセッションのGx優先順位付けとワイヤレスプライオリティサービスの有効化

ここでは、eMPS セッションの Gx 優先順位付けレベルを有効にする方法について説明します

```
configure
  context context_name
    [ no ] ims-auth-service service_name
    [ no ] policy control
    [ no ] diameter origin endpoint endpoint_name priority-select

    [ no ] diameter session-prioritization
  end
```

注：

- **priority-select**：選択した IMS 認証サービスの ワイヤレス プライオリティ サービス (WPS) を有効にします。



(注) WPS 機能では、**priority-select** キーワードは必須です。

- **[no] diameter session-prioritization**：eMPS セッションの Gx シグナリングの優先順位付けを有効または無効にします。
 - デフォルトでは、**diameter session-prioritization** CLI コマンドは無効になっており、Gx メッセージは WPS 値に基づいて優先順位付けされません。
 - 以前に設定されている場合は、**no diameter session-prioritization** CLI コマンドを使用してデフォルトの動作を設定します。
 - **diameter session-prioritization** CLI は、eMPS プロファイルとともに、Gx が設定で有効になっている場合に有効になります。
 - **diameter session-prioritization** 設定コマンドは、高優先順位チャンネルを通過する Diameter メッセージに DRMP-0 AVP をアタッチします。DRA/PCRF は、P-GW から DRA または DRA から PCRF Gx のリンクで高優先順位チャンネルから低優先順位チャンネルへのフォールバックが発生した場合、DRMP-0 に基づいて適切なアクションを実行します。



(注) **diameter session-prioritization** は既存の CLI であり、WPS 機能の必須設定ではありません。

低優先度ピアと高優先度ピアの区別

ここでは、低優先度ピアと高優先度ピアを区別する方法について説明します。ポリシー制御の下の優先度エンドポイントの設定により、WPS 機能は、ポリシー制御領域の IMS 承認サービスにのみ適用されるようになります。Gx インターフェイスに適用されます。

configure

```
context context_name
  [ no ] diameter endpoint pgw-gx
    peer PGW-Gx-green-1 realm_address ipv4 address | ipv6 address
port port_number
  peer PGW-Gx-wps-1 realm_address ipv4 address | ipv6 address port
port_number priority-select origin-host-suffix value dscp value
end
```

注：

- **priority-select**：ピアを高優先度の WPS ピアとして定義します。両方のパラメータを設定することはオプションです。ピアを設定するときは、次の条件が適用されます。
 - **priority-select** が設定されていない場合、ピアは高優先度の **WPS** ピアとして扱われません。
 - **origin-host-suffix**：**priority-select** がピアに設定されている場合、そのピアは **WPS** ピアとして扱われます。**wps** ピアに **Origin-host-suffix** が設定されている場合、設定された文字列が発信元ホスト ID に追加されます。そうでない場合は、デフォルトの **-wps** 文字列が発信元ホスト ID に追加されます (pgw-gx-wps など)。
 - **dscp**：DSCP が高優先度ピアに設定されていない場合、エンドポイントレベルの DSCP が DRA/PCRF への IP パケットに書き込まれます。それ以外の場合は、設定された DSCP が IP パケットに書き込まれます。

モニタリングおよびトラブルシューティング

この項では、障害対応情報、show コマンドと出力、IMSA レベルの統計情報、Diameter 統計情報、およびバルク統計について説明します。

コマンドと出力の表示

この CLI コマンドを使用して、ルールインストールの失敗の統計、優先順位付けされた DRMP メッセージの数、WPS および非 WPS セッションの統計の各出力フィールドの詳細を表示します。

show ims-authorization policy-control statistics

この CLI コマンドを使用して、Rule Installation Failure 統計、優先順位付けされた DRMP メッセージの数、WPS および非 WPS セッションの統計の詳細に関する出力フィールドを表示します。

フィールド	説明
DPCA WPS Session Stats	
Total Current Sessions	このシステムで現在実行されている DPCA WPS セッションの総数
Switched from Priority Chnl	ワイヤレスプライオリティから通常に移動されたサブスクライバの合計を示します
Switched to Priority Chnl	通常からワイヤレスプライオリティに移動したサブスクライバの合計を示します
DPCA WPS Message Stats	
Priority Channel	
高優先度チャンネルで送受信された WPS セッションのメッセージの統計を示します。	
Total messages Received	IMS 承認ポリシー制御のために受信したポリシー制御メッセージの合計。
Total Messages Sent	IMS 承認ポリシー制御サーバーに送信されたメッセージの合計。
Total CCR	受信したクレジット制御リクエスト (CCR) メッセージの合計。
Total CCA	CCR への応答として送信されたクレジット制御応答 (CCA) メッセージの合計。
CCR-Initial	受信した初期 CCR メッセージの総数。
CCA-Initial	初期 CCR メッセージへの応答として送信された初期 CCA メッセージの合計数。
CCA-Initial Accept	初期 CCR メッセージへの応答として受信した初期 CCA メッセージの合計数。
CCA-Initial Reject	初期の CCR メッセージに対する応答として拒否された初期 CCA メッセージの合計数。
CCA-Initial Dropped	S-GW 復元、DPCA がオフであるか存在しない、または IMSA セッションが保持モードであるためにドロップされた CCA-I メッセージの合計数。
CCA-Initial Timeouts	初期 CCR メッセージへの応答がタイムアウトした初期 CCA メッセージの合計数。
CCR-Update	更新のための初期 CCR 後に受信したクレジット制御要求 (CCR) メッセージの総数。

フィールド	説明
CCA-Update	CCR を更新するために応答として送信されたクレジット制御応答 (CCA) メッセージの合計。
CCA-Update Timeouts	CCR を更新するために応答として送信されたがタイムアウトしたクレジット制御応答 (CCA) メッセージの合計。
CCA-Update Errors	CCA-Update メッセージの解析中に発生したエラーの合計数。
CCA-Update Dropped	S-GW 復元、DPCA がオフであるか存在しない、または IMSA セッションが保持モードであるためにドロップされた CCA-U メッセージの合計数。
CCR-Final	アプリケーションを終了するために受信した最終 CCR メッセージの合計数。
CCA-Final	セッションを終了するための最終 CCR メッセージへの応答として送信された最終 CCA メッセージの合計数。
CCA-Final Timeouts	セッションを終了するための最終 CCR メッセージへの応答として送信されたがタイムアウトした最終 CCA メッセージの合計数。
CCA-Final Errors	CCA-Terminate メッセージの解析中に発生したエラーの合計数。
CCA-Final Dropped	S-GW 復元、DPCA がオフであるか存在しない、または IMSA セッションが保持モードであるためにドロップされた CCA-T メッセージの合計数。
ASR	受信したセッション中止要求 (ASR) の合計数。
ASA	セッション中止要求 (ASR) への応答として送信されたセッション中止承諾 (ASA) メッセージの合計数。
RAR	再承認のために受信した Re-Auth-Requests (RAR) の合計数。
RAA	再承認応答 (RAA) メッセージ応答がある再承認要求 (RAR) の合計数。
RAR-CCR collision	未処理のクレジット制御要求 (CCR) メッセージがある場合に、PCRF から受信した再承認要求 (RAR) メッセージの合計数。
Non-Priority Channel	プライオリティチャンネルで送受信されることが想定されるが、非プライオリティチャンネルで送受信された WPS セッションのメッセージの統計を示します。

フィールド	説明
Total messages Received	IMS 承認ポリシー制御のために受信したポリシー制御メッセージの合計。
Total Messages Sent	IMS 承認ポリシー制御サーバーに送信されたメッセージの合計。
Total CCR	受信したクレジット制御リクエスト (CCR) メッセージの合計。
CCR-Initial	受信した初期 CCR メッセージの総数。
CCA-Initial	初期 CCR メッセージへの応答として送信された初期 CCA メッセージの合計数。
CCA-Initial Accept	初期 CCR メッセージへの応答として受信した初期 CCA メッセージの合計数。
CCA-Initial Reject	初期の CCR メッセージに対する応答として拒否された初期 CCA メッセージの合計数。
CCA-Initial Dropped	S-GW 復元、DPCA がオフであるか存在しない、または IMSA セッションが保持モードであるためにドロップされた CCA-I メッセージの合計数。
CCA-Initial Timeouts	初期 CCR メッセージへの応答がタイムアウトした初期 CCA メッセージの合計数。
CCR-Update	更新のための初期 CCR 後に受信したクレジット制御要求 (CCR) メッセージの総数。
CCA-Update	CCR を更新するために応答として送信されたクレジット制御応答 (CCA) メッセージの合計。
CCA-Update Timeouts	CCR を更新するために応答として送信されたがタイムアウトしたクレジット制御応答 (CCA) メッセージの合計。
CCA-Update Errors	CCA-Update メッセージの解析中に発生したエラーの合計数。
CCA-Update Dropped	S-GW 復元、DPCA がオフであるか存在しない、または IMSA セッションが保持モードであるためにドロップされた CCA-U メッセージの合計数。
CCR-Final	アプリケーションを終了するために受信した最終 CCR メッセージの合計数。
CCA-Final	最終 CCR メッセージに回答してセッションを終了するために送信された最終 CCA メッセージの合計数。

show diameter peers full all

フィールド	説明
CCA-Final Timeouts	セッションを終了するための最終 CCR メッセージへの応答として送信されたがタイムアウトした最終 CCA メッセージの合計数。
CCA-Final Errors	CCA-Terminate メッセージの解析中に発生したエラーの合計数。
CCA-Final Dropped	S-GW 復元、DPCA がオフであるか存在しない、または IMSA セッションが保持モードであるためにドロップされた CCA-T メッセージの合計数。
ASR	受信したセッション中止要求 (ASR) の合計数。
ASA	セッション中止要求 (ASR) への応答として送信されたセッション中止承諾 (ASA) メッセージの合計数。
RAR	再承認のために受信した Re-Auth-Requests (RAR) の合計数。
RAA	再承認応答 (RAA) メッセージ応答がある再承認要求 (RAR) の合計数。
RAR-CCR collision	未処理のクレジット制御要求 (CCR) メッセージがある場合に、PCRF から受信した再承認要求 (RAR) メッセージの合計数。

show diameter peers full all

この CLI コマンドを使用して、ピアの詳細を表示します。

フィールド	説明
優先順位チャンネル	ピアの優先順位が高いかどうかを示します。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes : ピアが WPS であることを示します。 • No : ピアが非 WPS であることを示します。
設定済み DSCP	Gx IP パケットで使用される DSCP 値を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 設定されている場合、ピア固有の DSCP を表示します。 • 設定されていない場合、エンドポイントで設定された DSCP が表示されます。

バルク統計

ここでは、P-GW のトランザクションまたは発信元ホスト機能に基づく動的トランスポート選択のバルク統計について説明します。

IMSA スキーマ

WPS と非 WPS のユーザーの高優先順位および低優先順位カテゴリを追跡するために、IMSA スキーマには次のバルク統計が含まれています。

カウンタ	説明
dpca-imsa-total-session-priority-channel	ワイヤレス優先サブスライバの累積数を表示します。
dpca - imsa - total - sessions-switched -from - priority - channel	ワイヤレス優先から通常に移行したサブスライバの累積数を示します。
dpca - imsa- total- sessions-switched - to- priority- channel	通常からワイヤレス優先に移行したサブスライバの累積数を示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。